

ちょっとお節介な
お弁当屋さん

宅配 COOK 123 新聞



2025年
5月号

5月5日は端午の節句



5月5日は「端午の節句」です。

男の子の成長を祝い健康を祈る節句として、五月人形や鯉のぼりを飾り、柏餅を食べるのが典型的な祝い方とされています。柏は新芽が出るまで古い葉が落ちないことから、「家系が絶えない子孫繁栄」の縁起物として広まったと言われています。

宅配クック123は、今年も端午の節句に「柏餅」をプレゼントいたします（※一部店舗を除く）。柏餅をお召し上がりいただき、昔ご自宅に飾った五月人形や鯉のぼりを思い出していただければと思います。



夏も近づく八十八夜

立春から数えて88日目を「八十八夜」といい、春と夏の季節の変わり目で気候が温かく穏やかなたため、稲の種まき準備や茶摘みのシーズンとされています。

お茶の葉は1年に2〜4回ほど摘まれますが、この時期に摘んだお茶を「新茶」や「一番茶」といい、テアニンが多く含まれており、甘みや旨みがあるのが特徴です。また、新茶は一年を災いなく過ごせる不老長寿の縁起物とされています。新茶を飲んだ後も茶殻は捨てず、ふりかけや佃煮にして楽しんでみてはいかがでしょうか。



今月の
ご馳走の日

5月30日（金）夕食

九州しんけん

うまか旅弁当

5月のご馳走の日のお食事は、大分県を出発し西に向かって長崎県まで、九州北西部への旅の気分をお楽しみいただける「九州しんけんうまか旅弁当」をご用意いたしました。大分県の方言で「しんけん」とても「うまか」おいしい」という意味で、主菜には大分県が発祥地である「とり天」をご用意。大分県産かぼすを使用した「かぼす酢醤油あん」を合わせることで、さっぱり

と召し上がっていただけるように仕立てました。副菜には佐賀県の「がめ煮」や長崎県の「茄子のオランダ煮」、福岡県の「いわしの糠炊き」などを盛り合わせており、九州北西部4県の魅力が詰まったお弁当となっております。

